



院長 中村 昌樹

平成22年に女性が1位、平成23年は男性が1位という快挙を成し遂げています。市町村国保の一人当たり医療費の平均は、静岡県も国も高齢化の進行とともに上昇しているのに対し、森町では平成22年以降高齢化は進んでいますが、一人当たり医療費はむしろ減少しています。実際にこの10年ほどで森町の高齢者はますます元気になっていると、医療現場の視点から感じています。このことは地域住民一人一人の取り組みの結果でもあり、高齢化が進むことは決して悲観すべき事ばかりではないことを示しています。

これからの医療は、先端技術の分野では集約化が進み、それぞれの地域では生活と介護と医療が一体となった包括ケアシステムが求められます。システムとは、「関わりから生まれる力」を引き出す仕組みであり、医療とは人々の幸せを支えるシステムであるべきです。地域包括ケアシステムは、医療、介護、行政、住民がそれぞれの役割を果たし、互いに支え合って成り立つ仕組みです。当院は今後地域包括ケアシステムの構築に向かって、医療の立場から積極的に取り組んでまいりたいと考えています。今年もよろしくお願ひいたします。

## 年頭所感

2015年を迎えて、時代はますます加速しながら変化していく兆しを見せてています。IT技術を始めとした急速な科学技術の進歩は、医療の姿を大きく変えていくとしています。ロボット手術の普及やiPS細胞の網膜手術への応用など、革新的な技術も次々に生み出されています。一方、社会の高齢化はますます進み、慢性の疾患を抱えながらの生活を余儀なくされる人々がさらに増えるものと思われます。

静岡県で独自に算出している「お達者度」という指標では、森町は



昨年12月20日、毎年恒例となったミニコンサート「クリスマスの集い」が開かれました。ミニコンサートに先立ち、職員がサンタクロースやトナカイの衣装で各病室を訪問しクリスマスの雰囲気を盛り上げました。

コンサートでは、オカリナグループ「かわせみ」の皆さんによる演奏と「さざんか少年少女合唱団」の皆さんによる童謡の合唱が行われ、入院患者とその家族が、病院職員とともに心和むひと時を過ごしました。



さざんか  
少年少女  
合唱団



オカリナ  
グループ  
「かわせみ」

## 病院祭り・ クリニック祭りを開催しました



クリニック祭り  
の様子

11月16日(日)第一回森町病院祭り及び森町家庭医療クリニック祭りを同時開催しました。地域医療は、地域の人たちと共に作り上げるものであり、健康づくりの場として気軽に病院へ足を運んでもらいたいという考えから、もりもり2万人祭りの日程に合わせて開催しました。

病院祭りでは、病院不思議体験隊やスタンプラリー、救急車の展示、食生活サポート展示、AEDや心臓マッサージの体験などを、クリニック祭りでは、バルーンアートや輪投げ、血糖測定、在宅医療相談などを行いました。

どちらのお祭りも子どもから高齢の方まで、たくさんの方に足を運んで頂き、盛況に終えることができました。



オープニングの中村病院長(左)と  
堀江クリニック所長



衣装を着替えて  
手術室を見学する  
子どもたち



AEDと心臓  
マッサージの体験